



常盤っ子

草津市立常盤小学校
学校だより
令和4(2022)年9月16日

教育目標 「やさしさと強さを持ち、人やふるさとを大切にすることの育成」

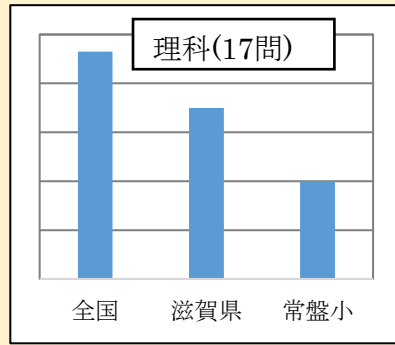
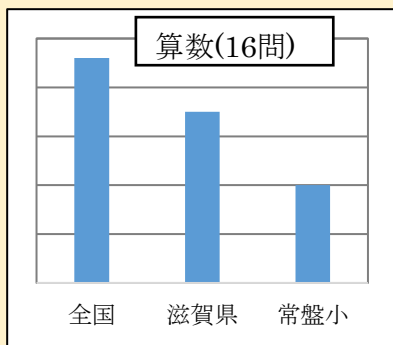
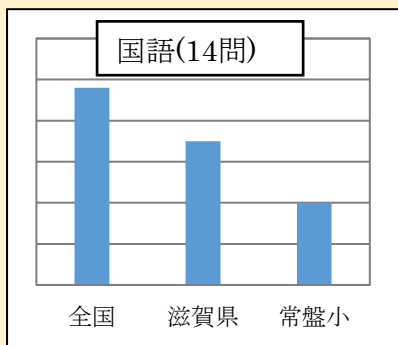
合言葉 「差別を見抜き、自ら正しく行動し、最後までやりきる、常盤っ子」

ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ けっか し
全国学力学習状況調査の結果についてお知らせします。

ぜんこく しょうがく ねんせい ちゅうがく ねんせい ぜんいん たいしょう がつ にち か じっし ぜんこく
全国の小学6年生と中学3年生の全員を対象に、4月19日(火)に実施された全国
がくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ けっか かじつこうひょう こんかい ほんこう けっか つた
学力学習状況調査の結果が過日公表されました。今回は、本校の結果についてお伝え
します。

ほんこう がくりよくちようさ こくごか さんすうか りか けっか いか とお
本校の学力調査(国語科・算数科・理科)の結果については、以下の通りです。

れいわ ねんど ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ きょうか せいとうりつ
令和4年度 全国学力学習状況調査 教科ごとの正答率



こんかい ぎょうか ぜんこく しがけん したまわ けっか
今回ですが、どの教科も全国ならびに滋賀県を下回る結果となりました。

い か きょうか けっか の おも
以下に、教科ごとの結果や見えてきたこと等を述べたいと思います。

まずは国語科です。今回の調査結果では、「言葉の特徴や使い方」に関する事項の
もんたい しがけん へいきんせいとうりつ うわまわ ぜんこくてき へいきんせいとうりつ おな けっか
問題について、滋賀県の平均正答率をやや上回り、全国的な平均正答率とほぼ同じ結果で
した。これは、本校が取り組んでいる「チャレンジ15」(放課後前学習)や家庭学習
の積み重ねのせいだととらえています。その一方で、「読むこと」の問題については、
しがけん ぜんこくてき へいきんせいとうりつ したまわ ぐたいてき なが ぶんしょう よ ない
滋賀県や全国的な平均正答率を下回りました。具体的には、やや長めの文章を読み、内
よう りかい ぜんこく かいとう もんたい はなし ないよう たいせつ
容を理解したうえで解答していく問題で、話の内容をしっかりとつかむことが大切になっ
てきます。

つぎ さんすうか こんかい ちようさけっか へんか かんけい かん じこう もんたい
次に、算数科です。今回の調査結果では、「変化と関係」に関する事項の問題において
しがけん へいきんせいとうりつ うわまわ ぜんこくてき へいきんせいとうりつ したまわ けっか いっぼう
滋賀県の平均正答率をやや上回り、全国的な平均正答率をやや下回る結果でした。一方、
「データの活用」に関する事項の問題では、滋賀県や全国的な平均正答率を下回りました。
ぐたいてき ぶんるいせいり ひょう じょうけん せいり
具体的には、分類整理された表やグラフなどのデータをもとに、条件を整理して
えら かいとう もと もんたい かつよう かん じこう
あてはまるものを選んだり解答を求めたりする問題です。「データの活用」に関する事項

の問題については、昨年度の調査結果でも本校の課題として挙げていました。2年続けて課題として挙がってきていることから、この領域に苦手意識があるととらえる必要があります。今後は、より丁寧に学習を進め、学んだことの定着を図っていきたくと考えています。

続いて理科です。理科の調査については、3年に一度行われます。今回の調査結果では、知識・技能面において、滋賀県の平均正答率とほぼ同じで、全国の平均正答率をやや下回りました。領域別では「生命」を柱とする領域において、滋賀県や全国的な平均正答率を下回りました。具体的には、昆虫の体のつくりについて説明するために、適切な写真を選ぶ問題です。

今回の結果を受けて、今後は以下のような取組を全校で進めていきます。

- (1) 学習のまとめやふりかえりを大切にした授業を実施し、積み上げていきます。
- (2) 「読み解く力」の育成を大切にした授業を実施し、積み上げていきます。
- (3) チャレンジ15（下校前学習）や家庭学習等において、基礎的・基本的な学習に加え、文章の問題にも取り組んでいきます。
- (4) 読書の時間を、学級ごとに定期的にとり、本に親しみをもてるようにします。

※「読み解く力」とは？（滋賀県教育委員会ホームページより）

「読み解く力」には、文章や情報を正確に読み解き理解する力と、相手の言葉やしぐさ、表情から、相手の意図や思いを読み解き理解する2つの側面があると捉えています。そして、その両面から「必要な情報を確かに取り出す」、「情報を比較し、関連付けて（自分と結びつけて）整理する」、「自分なりに解決し、知識を再構築する」というプロセスを、どの発達段階においても意識して「読み解く力」を育成することが大切であると考えています。

昨年度と同様、常盤小学校PTA特別会計より受検費用を負担いただき、民間教育機関による「総合学力調査」を12月に国語科と算数科で全学年において実施します。この結果から、これから全学年で取り組んでいくことが子どもたちに定着しているのか確かめたいと考えています。

以上、今年度の本校の学力調査—国語科・算数科・理科の結果の概要、今後の取組についてお伝えしました。なお、児童質問紙結果につきましては、次号の「常盤っ子」でお知らせしたいと思います。よろしくお願いいたします。

校長 廣瀬 智彦